

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レ・ジェイド新金岡町新築工	階数	地上11F
建設地	堺市北区新金岡町二丁目5-18、5-19	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住宅専用地域、準防	平均居住人員	816 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2018年3月1日
敷地面積	7,878 m ²	作成者	長谷工Co.株式会社
建築面積	2,730 m ²	確認日	2018年3月5日
延床面積	17,184 m ²	確認者	長谷工Co.株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	72%
③上記+②以外の	72%
④上記+	72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

音環境	3.3
温熱環境	2.9
光・視環境	3.4
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

機能性	3.2
耐用性	3.2
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.9

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.3
効率的	3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	2.2
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	4.1
地域環境	2.3
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	環境と不可系怪訝に配慮し、緑地を確保し緑量のある計画を行っている。	その他 特になし
Q1 室内環境	室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 沿道沿いに緑化を行い、周辺への環境に配慮している。
LR1 エネルギー	日本住宅性能評価表示基準「5-1断熱性能等級」における等級3を取得予定。	LR3 敷地外環境 敷地周縁部に緑地帯を設け、周辺地域に緑化景観を提供している。
Q2 サービス性能	耐久性に優れた建築物を計画している。	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材を使用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)レ・ジェイド新金岡計画新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区新金岡町二丁5-18、5-19	1.3	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 18,716.77 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●		
省エネ対策	3	● ● ● ● ●		
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●		
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●		

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			4.1	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3	
		住居・宿泊部分	3.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				3.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				4.3
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				対象外
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				2.2
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			2.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	